

## 平成30年度 福島県校友会総会

令和元年6月22日（土）福島市の「コラッセふくしま」において、平成30年度福島県校友会総会が、会員50名の出席のもと、近藤勝洪校友会会長をお迎えし開催された。

午後2時から五十嵐 徹 県校友会専務理事（75回）司会のもと、新開 武 県校友会副会長（52回）の開会の辞で総会が始まり、校歌斉唱、物故会員に対する黙祷、工藤祐光県校友会会長（74回）の挨拶の後、近藤会長の挨拶があり、大学の状況、歯科技工士の問題、校友会本部の現状、本部共済制度の改正、会員功労金の廃止などについて話をいただいた。

続いて、文部科学大臣表彰の平井清武会員（51回）、米寿表彰の羽生賢次会員（46回）他、各表彰受彰者に対して、工藤県会長と近藤会長から表彰状と記念品が贈られた。その後、鈴木賢美福島支部長（67回）を議長に選出して議事に入った。

平成30年度の会務、本部定時総会、歯学会総会、支部長会、平成30年度会計収入支出決算、令和元年

度事業計画および収入支出予算について説明があり、いずれも可決承認された。次に、役員改選が行われ、次期会長には工藤会長が再選され、歯学会評議員には冨塚重幸会員（76回）が選出された。次期総会当番支部の佐藤 明 会津支部長（71回）の挨拶があり、最後に栗城宏昌県校友会副会長（72回）の閉会の辞で終了した。

引き続き、岡田智雄生命歯学部総合診療科教授（73回）により「医療コミュニケーションをスキルアップしよう ～チェアサイドで困ったとき役立つ対応法～」という演題で学術講演会が行われた。

記念撮影の後、会場を最上階のレストランに移し懇親会が開催された。吾妻連峰の山々を眺めながら、近藤会長、岡田教授を囲み、校友会ならではの和やかな雰囲気の中、会員相互の親睦を深め盛会のうちに終了し、その後は二次会に向かって夜の街に繰り出していった。

（鈴木善一郎・73回記／田中吉雄・85回撮影）



平成30年度 福島県校友会総会 令和元年6月22日 於 コラッセふくしま